



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 クリナップ株式会社

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 強一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当

(氏名) 田中 仁

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	28,773	10.6	1,624	80.8	1,558	83.5	869	71.2
25年3月期第1四半期	26,008	40.2	898	—	849	—	507	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 895百万円 (100.1%) 25年3月期第1四半期 447百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.67	—
25年3月期第1四半期	10.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	87,114	56,463	64.8	1,211.89
25年3月期	85,891	56,033	65.2	1,202.66

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 56,463百万円 25年3月期 56,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	3.3	2,350	0.5	2,200	2.5	1,300	0.7	27.90
通期	118,800	4.6	4,800	0.9	4,500	2.9	2,550	1.8	54.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	46,942,374 株	25年3月期	46,942,374 株
26年3月期1Q	350,808 株	25年3月期	350,758 株
26年3月期1Q	46,591,583 株	25年3月期1Q	46,591,709 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算短信のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要に加え、新政権による経済政策への期待から景気回復の動きをみせました。しかしながら、雇用情勢や所得環境が不安定な中、公共料金の値上げや社会保険料負担の増加などもあり、消費の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、政府による住宅取得支援策に加え、消費税増税による駆け込み需要もあり、新設住宅着工戸数は平成24年9月より連続して前年同月を上回るなど、堅調な伸びをみせました。

このような中で当社グループは、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」を中心として、平成25年6月に「hair o (はいろ)」のデザイン性を高めてフルモデルチェンジしたシステムバスルーム「ユアス」や高さのバリエーションが豊富になった洗面化粧台「ティアリス」や「S [エス]」等、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、全国102ヶ所のショールームを活用した新商品フェアを実施し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きVE活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも増、「クリンレディ」は数量、金額とも大幅増、「ラクエラ」も数量、金額とも大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比12.6%増の217億9千3百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも微増、「hair o (はいろ)」も数量、金額とも増、洗面化粧台においても数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比3.4%増の56億6千7百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比10.6%増の287億7千3百万円となりました。利益面では営業利益は同80.8%増の16億2千4百万円、経常利益は同83.5%増の15億5千8百万円、四半期純利益は同71.2%増の8億6千9百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は871億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億2千2百万円増加いたしました。流動資産は597億3千1百万円となり、8億8千4百万円増加いたしました。これは受取手形及び売掛金が2億5千2百万円、電子記録債権が3億1千1百万円減少した一方、現金及び預金が7億8百万円、商品及び製品が6億4千8百万円増加したこと等によります。固定資産は273億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千8百万円増加いたしました。これは有形固定資産が5千8百万円増加、無形固定資産が3億1百万円増加した一方、投資その他の資産が2千1百万円減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は306億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千2百万円の増加となりました。流動負債は主に短期借入金の増加等により12億9百万円増加し、233億3百万円となりました。固定負債は主に長期借入金の減少等により4億1千6百万円減少し、73億4千6百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は564億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千万円増加いたしました。これは四半期純利益8億6千9百万円、配当金の支払い4億6千5百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.2%から64.8%になりました。

#### (キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円（2.6%）増加して279億1千3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間において、営業活動によって得られた資金は11億3千6百万円（前年同期比25.6%減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が15億4千8百万円と前年同期比6億9千6百万円の増益で、減価償却費が6億6千7百万円、売上債権の減少8億9千7百万円、未払金の増加3億6千8百万円等があった一方、たな卸資産の増加7億6千5百万円、賞与引当金の減少9億6千7百万円、法人税等の支払額7億2千4百万円があったこと等によるものです。

当第1四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は10億4千8百万円（前年同期比117.3%増）となりました。これは生産設備の増設及び改修等により有形固定資産の取得に伴う支出が6億1千3百万円、情報システム構築に伴う支出が4億3千4百万円あったこと等によるものです。

当第1四半期連結累計期間において、財務活動の結果得られた資金は6億5百万円（前年同期は7億2千6百万円の使用）となりました。これは長期借入金の約定返済3億9千9百万円、配当金の支払いが4億6千6百万円あった一方、短期借入れによる収入が15億円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、低位にて推移する住宅ローン金利や消費税増税による駆け込み需要もあり、新設住宅着工戸数の継続的な持ち直しが期待されるものの、建築関連人材の不足による工期遅延など、懸念材料を抱えております。また、雇用不安や所得低迷等の影響により消費マインドの急激な改善は望めず、景気の先行きに対する不透明感が続くものと思われま

す。このような状況下、当社グループはフィルターとファンを自動洗浄する「洗エールレンジフード」等の高付加価値商品で差別化を図り、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」やトータルコーディネートが可能なシステムキッチン「ラクエラ」等を中心に売上拡大に努めてまいります。また、生産面で原価低減、全社的なコスト削減にも継続して努めてまいります。

以上により、当第1四半期連結累計期間は増収増益を確保いたしました。直近の経営環境を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては変更ございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,690	25,399
受取手形及び売掛金	24,931	24,679
電子記録債権	2,464	2,152
有価証券	2,713	2,713
商品及び製品	874	1,523
仕掛品	103	99
原材料及び貯蔵品	970	970
その他	2,143	2,237
貸倒引当金	△44	△44
流動資産合計	58,847	59,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,498	8,663
その他(純額)	10,998	10,892
有形固定資産合計	19,496	19,555
無形固定資産		
	1,867	2,168
投資その他の資産		
投資有価証券	3,074	3,086
その他	2,703	2,670
貸倒引当金	△98	△97
投資その他の資産合計	5,679	5,658
固定資産合計	27,043	27,382
資産合計	85,891	87,114

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,849	6,888
短期借入金	1,599	3,099
未払金	10,534	10,686
未払法人税等	746	661
賞与引当金	1,289	321
資産除去債務	2	5
その他	1,072	1,640
流動負債合計	22,094	23,303
固定負債		
長期借入金	3,168	2,768
退職給付引当金	1,793	1,745
役員退職慰労引当金	424	424
資産除去債務	354	352
その他	2,021	2,055
固定負債合計	7,762	7,346
負債合計	29,857	30,650
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	30,183	30,587
自己株式	△224	△224
株主資本合計	55,578	55,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450	458
為替換算調整勘定	5	23
その他の包括利益累計額合計	455	482
純資産合計	56,033	56,463
負債純資産合計	85,891	87,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	26,008	28,773
売上原価	16,882	18,588
売上総利益	9,125	10,185
販売費及び一般管理費	8,227	8,561
営業利益	898	1,624
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	36	41
仕入割引	63	71
その他	56	49
営業外収益合計	161	166
営業外費用		
支払利息	19	11
売上割引	169	189
その他	22	31
営業外費用合計	210	231
経常利益	849	1,558
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除売却損	8	8
投資有価証券評価損	3	1
減損損失	1	0
特別損失合計	12	9
税金等調整前四半期純利益	852	1,548
法人税等	344	679
少数株主損益調整前四半期純利益	507	869
四半期純利益	507	869

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	507	869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	7
為替換算調整勘定	8	18
その他の包括利益合計	△60	26
四半期包括利益	447	895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	447	895
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	852	1,548
減価償却費	648	667
賞与引当金の増減額(△は減少)	△861	△967
売上債権の増減額(△は増加)	2,144	897
たな卸資産の増減額(△は増加)	△986	△765
仕入債務の増減額(△は減少)	168	39
未払金の増減額(△は減少)	209	368
その他	△267	39
小計	1,907	1,827
利息及び配当金の受取額	41	44
利息の支払額	△21	△10
法人税等の支払額	△398	△724
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,528	1,136
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△291	△613
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△215	△434
投資有価証券の取得による支出	△200	△0
投資有価証券の償還による収入	200	—
その他	22	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482	△1,048
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△33	1,500
長期借入金の返済による支出	△433	△399
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△233	△466
その他	△26	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△726	605
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	327	709
現金及び現金同等物の期首残高	26,248	27,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,575	27,913

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社及び連結子会社は、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。